







2018.11.29 公開セミナー:地域を豊かにする脱炭素社会に向けた取組 テーマ別ディスカッション(セッション2) ~地域エネルギーポテンシャルの顕在化を軸とした地域の脱炭素の取組み~

札幌市における地球温暖化対策

札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課 調査担当係長 佐竹 輝洋































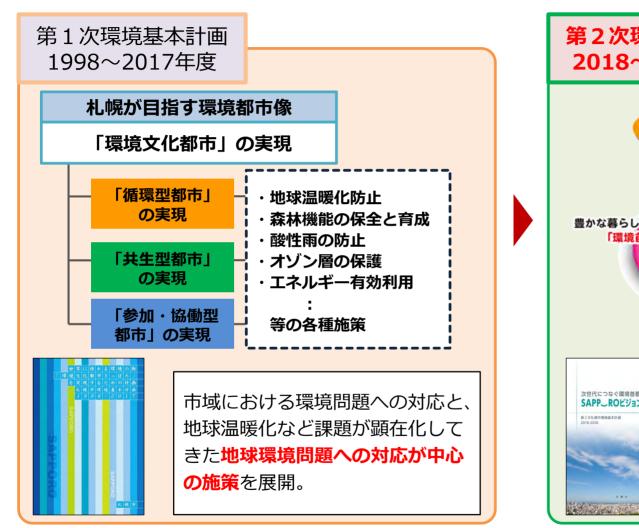






次世代につなぐ環境首都・SAPP、ROビジョン(第2次札幌市環境基本計画)







これまで、諸問題に対し個別に対応してきた「環境対策」から、 環境・経済・社会に対する波及効果を同時に達成を目指すこととした



札幌が目指す将来像(2050年頃の姿)

次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市 「環境首都・SAPP」RO」

第4章 将来像を実現するための5つの柱

各柱ごとに2030年の姿と施策の方向を設定

- ①健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現
- ②積雪寒冷地 に適した 低炭素社会 の実現
- ③資源を持続可能に活用する 循環型社会 の実現
- ④都市と自然が 調和した 自然共生社会 の実現
- ⑤環境施策の横断的・総合的な取組の推進

環境対策を国連「持続可能な開発目標(SDGs)」達成につなげていくことを計画に位置づけ

環境、経済、社会を三層構造で示した木の図



資料: 環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト | 持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究 | より環境省作成

り 中・ 東京 100年 南端寺 1

出典:平成29年度環境白書(環境省)

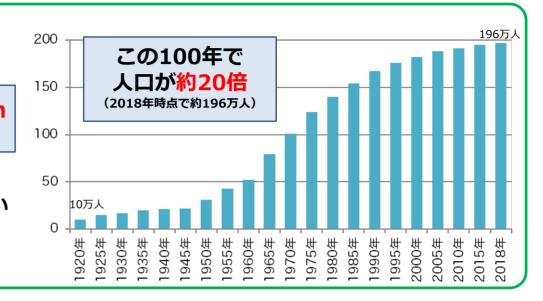
公開セミナー:地域を豊かにする脱炭素社会に向けた取組

地球温暖化対策に関する札幌市の特徴



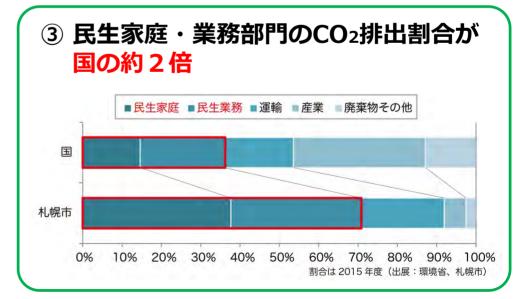






② 家庭の暖房エネルギーが本州の約5倍





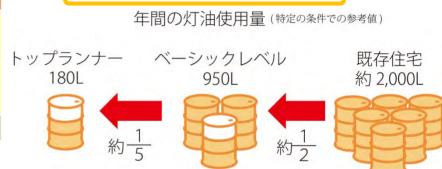
札幌版次世代住宅基準[2012年~]



- ○高断熱・高気密な住宅に対し、国の省エネ基準を上回る基準を独自に設定し、認定を行っている ほか、ベーシックレベル以上の住宅には補助制度も実施し、普及を図っている。
 - ※その他、太陽光発電やエネファームなどにも補助制度を実施

新築住宅の等級	補助金額	外皮平均熱還流率	一次エネルギー消費量		相当隙間面積
利来は七の守収	1份以立段	(UA値)[W/㎡・K]	全体	暖房+換気	(C値)[cៅ/㎡]
トップランナー	200万円/件	0.18以下	等級5	35%以下	0.5以下
ハイレベル	150万円/件	0.22以下		45%以下	
スタンダードレベル	80万円/件	0.28以下		60%以下	1.0以下
ベーシックレベル	30万円/件	0.36以下		75%以下	
ミニマムレベル	無し	0.46以下	等級4	90%以下	1.0以下

→国の省エネ基準をミニマムレベルに設定



暖房エネルギー削減量



札幌版次世代住宅[ハイレベル]の例



市内で建築される新築戸建住宅に占めるベーシックレベル以上の割合

→ 53.8% (2016年度)

2012年度→2016年度

家庭部門のCO2排出量: 12.4%減

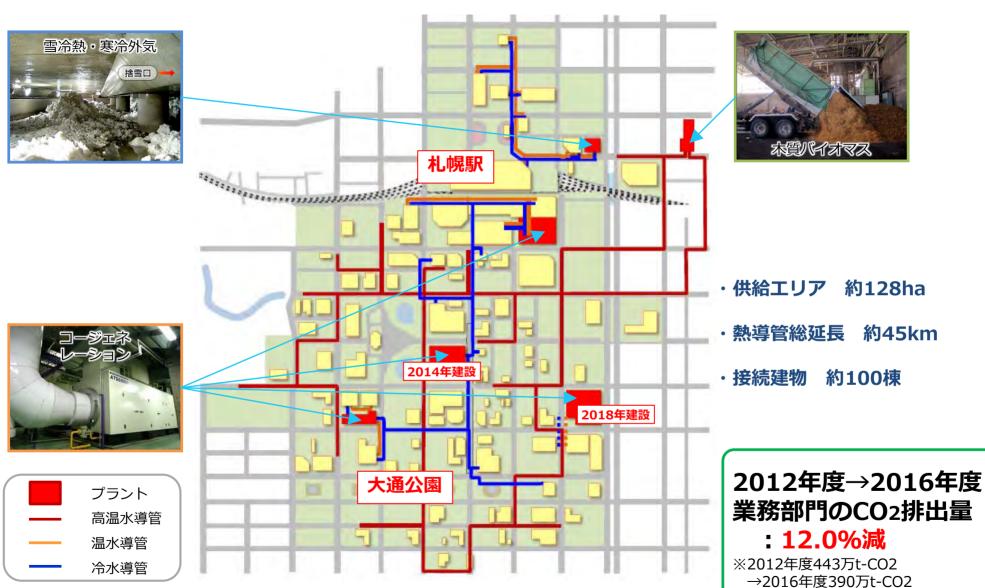
※2012年度507万t-CO2→2015年度444万t-CO2

化石燃料の消費削減

→エネルギーコストの域外流出の削減

都心における地域熱供給とエネルギー対策





まちの成長に合わせて熱供給ネットワークを構築

都心エネルギーマスタープラン (2018年3月策定)

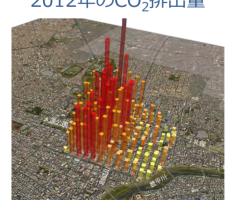








2012年のCO₂排出量





太陽光・熱

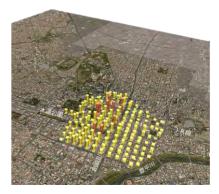
水力





環境やエネルギーに関する 先進的な取組を組み込んだまちづくり

2050年までに80%削減



ご清聴ありがとうございました

質問・要望等は↓までご連絡ください。

札幌市環境局環境都市推進部環境計画課(北1条西2丁目)

TEL: 011-211-2877

Mali: kan.suishin@city.sapporo.jp